

令和元年度 かつの商工会 戦略・施策・事業評価結果の概要

令和元年9月27日
かつの商工会

1 評価の実施

当会アクションプログラムの管理については、所管する総務委員会（委員長：高橋健一理事）で、5つの戦略、10の施策、26の事業に対し、実施内容、結果、事務局評価等に関する意見、事業の是非、評価の可否、それらにかかる修正点、今後の方針について審議を行った。

評価においては、県連より示された基準に基づき、数値目標の達成度や有効性の観点などについて確認し「適正」であるとの評価を得た。

総評では、「アクションプログラムの内容や結果に終始することなく、商工会の本質である小規模事業者に対する支援を充実し、満足いただき会員を一人でも増やしていくこと。この目的を見失わないで欲しい。」と要望があった。

2 評価結果の概要

▽評価結果

戦略・施策・事業評価結果は次の通りであり、プラン全体としては「概ね順調」に推移している。

▽戦略評価

全ての戦略で「B判断」であり「概ね順調」に進捗している。特に重点戦略として「戦略2 プロ集団の商工会」を推進し順調に進捗してはいるが、職員間の意識改革への温度差が今後の課題となっている。

		A（順調）	B（概ね順調）	C（一部未達成）
戦略評価	5戦略	0	5	0

▽施策評価

全ての施策で「B判断」であるが、指標や判断基準で客観的な評価ができないものもあり、施策の目標や事業そのものの見直しが必要と判断された。

特に「戦略3 事業者が主役の商工会」と「戦略4 機動的・効果的な商工会」では、計画した施策・事業が重複しているなど再検討、再構築が必要と判断された。

		A（順調）	B（概ね順調）	C（一部未達成）
施策評価	10施策	0	10	0

▽事業評価

全ての事業で「B判断」であるが、目標数や指標を熟すだけの数合わせ的な評価も見受けられたので、本来達成すべき目標を見定めた事業の実施と評価が必要と判断された。

特に「施策1事業承継の推進」では、調査は順調に進捗しているものの、事業承継計画はほとんど進んでいない。膨大な時間を調査に費やしている割には成果に結び付かず今後の課題とした。

		A（順調）	B（概ね順調）	C（見直しが必要）
事業評価	26事業	4	22	0

▽評価結果の活用

評価結果は、計画の見直しや廃止の検討、新たな計画の追加、指標についての可否について反映し、次年度以降のプランに活用する。